

令和4年度 かほく市立大海小学校 学校評価中間報告書

経営目標	主担当	取組内容	評価の観点	達成度判断基準	児童の評価	保護者の評価	地域の方の評価	教員の評価	達成度(判定)	後期の方向性(改善計画等)	学校運営協議会委員による意見	
1 確かな学力の育成	学習指導部	ア	自分の考えをもち、しっかりと表現できる子を育成するために、教育課程の年間指導計画で関連付けを可視化。週案を活用し、確実な実施に努める。	週案を活用し、教育課程を意識して確実に実施していることを明記する。	教職員アンケートで80%以上				100%	A	・研究の重点に沿った取組を職員がより意識できる有効な手立てとなった。カリマネの柱を意識して今後も実施していく。	・児童の秋祭りがコロナにより行えないため、笛や太鼓、獅子の方法を動画で撮影する予定。児童のタブレットで児童が見ることは可能か。 →YouTube等の活用も考えられる。DVDに残る方が4年生の社会等の学習教材として活用できる。地域の文化をどのような形で残していくのか、具体的に考えていくことが必要。 ・タブレット端末の評価を見ると、まだ不十分と捉えられるが、どのような点が進まない理由か。 →授業における効果的な活用法を模索している。ノートの兼ね合いなど、難しいこともある。教師の技能も違うため、よりよい使い方を知らするための研修を校内や小中連携で定期的に行っている。
		イ	★1人1台端末を生かしたICT教育の実践推進	1人1台端末を活用した授業を計画的に行っている。	児童アンケートで80%以上	93%				A	・定期的な週案を活用し、今後も重点項目についての共通実践を行っていく。	
	ウ	家庭学習の習慣づけを図る(10分×学年)	学年に応じた家庭学習の仕方が定着し、進んで取り組んでいる。	10分×学年の時間をクリアした割合が90%以上 児童・保護者アンケート「自分で計画を立てている」で80%					88%	B	・回数を提示することで意識して使うことができた。今後も、授業の中での効果的な活用を共有していく。	
	エ	読書に親しむ習慣化を図る	週に2回の朝読書や学年に応じた必読書を設定することで、本を読む習慣をつけ、質の高い本を読んでいる。	年間 次の数値以上 低学年は150冊 中学年は100冊 高学年は80冊					89%	A	・家庭学習がんばり週間以外でも進んで取り組むように、自学ノート等の手本となる内容を紹介し広めていく。 ・本を読んでいる児童は多いが、必読書を読んでいる児童となると半数になる。必読書を読む取組を設定し、質の高い本にも親しむようにしていく。	
2 いじめ、不登校や問題構造の未然防止と心の教育の推進	生徒指導部	ア	豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実を図る	道徳の授業実践を行い、GTを取り入れるなどの工夫をしながら、判断力・実践力を高めるようにする。	S:「道徳の授業で、内容項目について考えている」が80%以上 T:「道徳では、年間指導計画に基づき、計画的に授業を行っている」が100%	98%			89%	B	・伝統文化や郷土に関する単元での授業実践では、GTを招き、判断力や実践力を高められるようにしていく。	
		イ	あいさつを通して他者との関わりを持たせる	家庭や地域であいさつする習慣が身についている。学校内でお客さんに出会ったときにあいさつができる。	三者のアンケートの評価の割合が80%以上 児童・教職員アンケートの結果が90%以上	96%	99%	91%	100%	A	・引き続き、あいさつをするこの意味や大切さについて、学年に合わせた言葉や方法で指導していく。	
		ウ	★いじめや問題行動の早期発見・早期対応・事後の確認、継続指導(観察)の徹底	問題行動が起きる前に、児童と積極的に関わり、生徒指導主事を中心としたチーム対応で家庭と連携を図り、問題解決ができるようにしている。	教職員アンケートの結果が90%以上 S:「いじめはどんな理由があってもいけない」と思う」が90%以上 P:「学校のいじめの未然防止や早期発見の取組が伝わってくる」が80%以上	100%	93%		100%	A	・いじめの早期発見のため、児童一人一人の様子を細やかに見取り、未然防止に努めていく。また、家庭との連携を強化し、児童の変化や学校での様子について、情報を共有していく。	
3 生活習慣の定着と運動能力の向上	保健安全部	ア	★家庭と連携し、生活習慣の定着を図る(早寝・早起き・朝ご飯、視力低下)	身の回りの清潔に自分で気をつけ取り組んでいる 養護教諭と連携して、食育や視力低下防止の授業や活動を推進している 「早寝・早起き・朝ご飯」、または「視力低下防止」を意識して生活できる。	毎週水曜日の清潔検査で80%以上 児童・保護者アンケート「朝食を毎日食べている」が80%以上 学校独自の「はっぴ〜貯金」の調査で就寝時刻を守ることが5日間のうち4日できたが80%以上	98%				A	・一人でも多くの児童が就寝時刻を守るように、早寝のメリット・デメリットを引き続き伝えていく。 ・視力低下防止の観点からもネットやゲーム等の使い方に関する情報を伝えることや、考える機会の確保に努める。 ・今後もスポチャレの取組を継続する。	・休日明けに欠席する児童は多いか。集団登校の集まる時間がだんだん早くなっている。 →休み明けが多いということはない。腹痛や頭痛で休む児童はいるが常に同じ児童ではない。 ・就寝時刻を守らせるためには、子どもだけでなく、親に対して授業参観で話すなどのアプローチすることも必要。 YouTubeがテレビ代わりになっている児童や、オンラインで繋がっている児童が多い。 ・視力の低下はあるのか。 →視力検査は今後行うが、市の重点項目にもなっているため、成長期の体を大切にすることも指導していく。
		イ	体育授業を核とした体力と運動能力の向上	各学年で、スポチャレに取り組んだり、苦手種目を意識した活動を取り入れている。	教職員アンケートの実施で80%以上	100%				A	・休み時間には、体を動かすように声をかける。 ・苦手種目の力が向上する簡単な運動に取り組ませる。	
		ア	★業務の軽重、会議や行事の精選を工夫し、組織的運営を推進(「四協」で取り組む)	県全体で行っている勤務時間調査における勤務時間が昨年度を下回る。	勤務時間調査					R4 56h -14%		
4 教職員の働き方改革の推進	教務部	ア	★業務の軽重、会議や行事の精選を工夫し、組織的運営を推進(「四協」で取り組む)	県全体で行っている勤務時間調査における勤務時間が昨年度を下回る。	勤務時間調査				R4 56h -14%		・今後も会議や行事を見直したり、特別日課を活用して教材研究を行う時間を作ったりするなどの工夫を行っていく。	
		イ	「学校運営協議会」の効果的な運用、学校関係者評価を生かした学校経営の実施	家庭や地域との連携に際し、積極的に学校コーディネーターや学校運営協議会を活用している。	教職員アンケートで80%以上 委員アンケートの実施で80%以上			97%	100%	A	・学校運営協議会で出た意見や評価を基に、よりよい学校になるように、取組を考え実行していく。	
5 コミュニティスクール事業の推進	教務部 学校CN	ア	地域素材を生かした学習に積極的に取り組む	総合的な学習や生活科等で地域の素材や人材を生かした授業を行っている。 総合的な学習や生活科等で地域の学習に楽しく取り組んでいる。	教職員アンケートの実施で90%以上 児童アンケートの実施で80%以上	98%			100%	A	・教育課程と照らし合わせながら、計画的に学校コーディネーターと調整を進めていく。	
		イ	「学校運営協議会」の効果的な運用、学校関係者評価を生かした学校経営の実施	家庭や地域との連携に際し、積極的に学校コーディネーターや学校運営協議会を活用している。	教職員アンケートで80%以上 委員アンケートの実施で80%以上			97%	100%	A	・学校運営協議会で出た意見や評価を基に、よりよい学校になるように、取組を考え実行していく。	